

(社)日本詩人クラブ 2019年 9月 例会のご案内

日時 2019年9月14日(土) 12時30分～15時30分 会費500円(会員・会友も)

会場 東京グランドホテル 蘭の間

詩朗読 & スピーチ 橋田活子氏 (甲府市) 濱本久子氏 (藤沢市)
室井大和氏 (白河市)

三賞受賞者による小講演

「私の詩はこうして—」

日本詩人クラブ賞 高橋次夫氏

プロフィール 高橋 次夫 (たかはし つぎお) 氏

1935年、宮城県仙台市生まれ。1946年、満州より引揚げ体験。1957年、「時間」(北川冬彦監修)同人。1990年、冬彦死去、「時間」終刊。1991年、「竜骨」創刊。現在、埼玉詩人会、日本詩人クラブ、日本現代詩人会、日本文藝家協会、各会員。また「竜骨」、「午前」、「晨」、の同人。主な詩集、『鴉の生理』、『骨を飾る』、『雪一尺』、『孤性の骨格』、『石の懐』など。

「詩を書くようになって」

日本詩人クラブ新人賞 川井麻希氏

プロフィール 川井 麻希 (かわい まき) 氏

1979年愛媛県新居浜市生まれ。同志社大学文学部英文学科卒業。現在神奈川県伊勢原市在住。2005年頃より詩作を開始し、「詩と思想」読者作品欄に投稿、入選を果たす。文藝学校にて長谷川龍生氏のクラスを2年間受講。現在「ERA」同人。第22回(2013年)第27回(2018年)「詩と思想」新人賞入選。2018年第一詩集「あらゆる日も夜も」を上梓する。

「詩をどう読むか—パウル・ツェランと金時鐘をめぐって」

日本詩人クラブ詩界賞 細見和之氏

プロフィール 細見 和之 (ほそみ かずゆき) 氏

1962年兵庫県丹波篠山市生まれ、同市在住。大阪大学大学院人間科学研究科博士課程修了。現在、京都大学大学院人間・環境学研究科教授。専攻はドイツ思想。詩集に『家族の午後』(滯標、三好達治賞)、評論に『石原吉郎』(中央公論新社)、翻訳にローゼンツヴァイク『救済の星』(共訳、みすず書房、レッシング賞)など。日本詩人クラブ、日本現代詩人会会員。詩誌『びーぐる—詩の海へ』編集同人。2014年10月より大阪文学学校校長。

交流会

例会終了後 15時30分～17時30分

東京グランドホテル菊の間 会費4000円

東京グランドホテル

東京都港区芝2-5

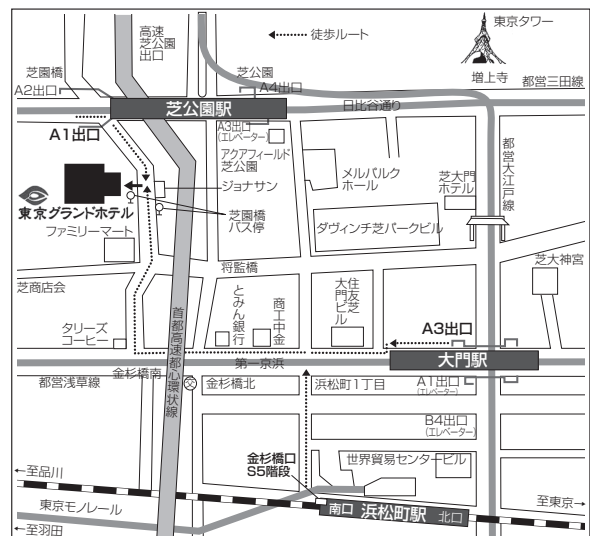
TEL: 03-3456-2222 (大代表)

都営地下鉄 三田線「芝公園」駅 (A-1出口) 徒歩2分

JR山手線・京浜東北線「浜松町」駅 (南口) 徒歩10分

東京モノレール「浜松町」駅 徒歩10分

都営地下鉄 浅草線・大江戸線「大門」駅 (A-3出口) 徒歩8分



例会担当理事 谷口典子